

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名						
			R5年度決算額(円)	3	妥当性評価						
			内 直接事業費	4	有効性評価						
内 人件費	5	効率性評価									
1	30101020	農業経営基盤強化促進法に基づき農用地の利用権設定等の農用地利用集積計画を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図る。担い手への農地集積・集約化の推進、遊休農地の発生防止・解消、農地中間管理機構との連携、新規就農者の参入の促進等の活動を担う。	14,865,049	事務事業評価					農業経営基盤強化促進法に基づき、農用地利用集積計画(農地の売買・賃借)を策定し、担い手の育成と農地の集積・集約化による有効利用を図っている。毎年の農地利用状況調査から遊休農地は増加傾向にあり、その解消が課題である。	農用地利用集積計画(農地の売買・賃借)の制度の周知・活用を推進し、農地の集積・集約化を図った。不耕作地を含め貸付意向のある農地の有効利用を図るため、農業委員・農地利用最適化推進委員への意向情報の提供や農地バンク等の活用を推進した。	農業委員・農地利用最適化推進委員の更なる連携強化、関係部署との情報共有を図り、引き続き農地集約化に関する制度の周知活動を行う。また、離農等による不耕作地が遊休化しないよう遊休農地の発生防止対策や荒廃農地・荒廃施設の再生に向けた支援を行う。
	農業の振興		2,196,652	1	農業委員会事務局						
	農地利用最適化推進事業		12,668,397	2	鈴木 敏恭						
			15,751,312	3	高い						
			2,336,198	4	普通						
13,415,114	5	普通									
2	30101030	農地の集積・集約を推進し、中心的経営体への農地の集約を図る。また、遊休農地の発生予防と解消に努める。	17,769,993	事務事業評価					・農地バンク事業の運営により、農地の流動化を進めているところであるが、農地を求める者に対して、農地を手放したい、若しくは、貸し出したい者が相対的に多いため、登録件数が増加傾向にある。・近年、遊休化する園芸施設が増加傾向にある。	・農地バンクの運用により、年間58筆の農地について売買・賃借が成立した。・農地の有効利用を啓発する講座の開催や、農地・園芸施設バンク事業の紹介を市広報誌などに掲載することにより、農地及び園芸施設の有効利用についての啓発を行った。	・農地バンク事業や、農地中間管理事業を活用し、中心的経営体への農地の集積・集約を推進する。・園芸施設の流動化を促進するため、ニーズや現状を把握して、園芸施設の有効利用についての検討を進める。
	農業の振興		6,122,345	1	農林水産部 営農支援課						
	営農支援課管理運営事業		11,647,648	2	永田 敬一						
			18,414,244	3	高い						
			4,600,872	4	普通						
13,813,372	5	普通									
3	30101040	地域における農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図ることを目的に、地域ぐるみで行う草刈、浚渫等施設の維持管理を行う活動組織に対して農地維持・資源向上(共同活動・施設の長寿命化)活動を支援する。	206,086,732	事務事業評価					活動組織による農道、水路等の草刈、泥上げ等を支援し、農業用施設の適切な維持管理を実施している。活動組織が複雑な制度を理解し、適正な活動をする必要がある。また、事業計画の認定及び活動の実施状況確認等の市の役割が多く、19組織の活動内容の把握が必要である。	各協議会へ出向き、施設の長寿命化及び共同活動についての説明を行った。また問題点、疑問点などの相談を随時受付、指導や助言を行い、業務の適正化を図った。	令和6年度～令和10年度の5か年計画に基づき、今後も円滑に事業を実施できるように、各活動組織に対し説明会や勉強会を行う。事業を進めていく中で、疑問点や相談などを随時受付し、適切な指導を行う。
	農業の振興		200,107,680	1	農林水産部 農政課						
	多面的機能支払事業		5,979,052	2	山田 正勝						
			205,912,694	3	高い						
			199,769,800	4	高い						
6,142,894	5	普通									
4	30102010	農道舗装や排水路、用水路整備、農地の区画拡大を行い、農業生産性や営農利益の向上を図るために土地改良事業を促進する。	49,821,541	事務事業評価					県営事業で行っている農地中間管理機構関連県営土地改良事業(県営経営体育成基盤整備事業)に対して、事業主体である愛知県及び土地改良区・担い手農家等と調整し、事業の推進を図る必要がある。	和地太田地区の基盤整備工及び揚水機場工、また事業主体である愛知県及び地元役員・担い手農家等と今後の事業スケジュールの調整を行った。	和地太田地区をはじめ、基盤整備を促進する上で事業主体である愛知県・土地改良区・担い手農家と地権者等と話し合いを行い、事業の推進を図る。
	農業の振興		47,270,836	1	農林水産部 農政課						
	農地基盤整備促進事業		2,550,705	2	山田 正勝						
			34,801,142	3	高い						
			32,555,948	4	高い						
2,245,194	5	普通									
5	30102030	堤防決壊時には、下流農地だけでなく民家等にも甚大な被害が予想されるため、県営土地改良事業により堤体等の改修を行い、農業経営の安定と生活環境の保全を図る。	20,900,721	事務事業評価					防災重点ため池の耐震診断を行い、大地震に対して耐震性能が十分でない池の耐震整備を早急に進める必要がある。また県営事業で行われる、ため池整備の事業に対して、地元等と調整し事業の推進を図る必要がある。	農業用ため池管理保全法により防災重点ため池44池の再選定を行い、ハザードマップを元に耐震診断を随時行っている。また県営老朽ため池等整備事業(大正池地区)の促進を図った。	引き続き、防災重点ため池の耐震診断を行い、耐震性能が十分でない池に対して優先順位を決め、防災ダム事業の整備を計画的に行い防災機能の強化を図る。
	農業の振興		17,280,366	1	農林水産部 農政課						
	ため池等整備促進事業		3,620,355	2	山田 正勝						
			16,734,592	3	高い						
			13,785,680	4	高い						
2,948,912	5	普通									
6	30102040	地区内農用地からの流出量の増大や、排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下によるたん水被害を防止するため、排水機場の改修を行い被害を未然に防ぐたん水防除事業を促進する。	8,675,372	事務事業評価					県営事業で整備する排水機場等の事業に対して、地元等と調整し、事業の推進を図る必要がある。	県営たん水防除促進事業で整備する新天白排水機場の機場工及び県営農業水利施設保全対策事業での豊島地区排水路工を行うにあたり、地元等と調整し事業の推進を図った。	農地への豪雨による、たん水被害を未然に防止することを目的に、愛知県・地元等と調整し、老朽化した既設排水機場や排水路工の改修を行い、保全対策を進める。
	農業の振興		7,358,879	1	農林水産部 農政課						
	たん水防除促進事業		1,316,493	2	山田 正勝						
			51,522,193	3	高い						
			50,449,861	4	高い						
1,072,332	5	普通									
7	30102060	土地改良区が事業主体の単県土地改良事業等を支援し、農業の生産性向上と災害防止及び国土の保全を図るため、道路・排水路・その他の土地改良施設の整備を行う。	29,264,643	事務事業評価					土地改良区が計画する土地改良施設の整備について、施設の緊急性、有効性及び効率性を考慮して整備対象施設を選定する必要がある。	緊急性及び必要性を考慮し、馬草場水機補修工事などの土地改良施設の整備事業を支援した。	引き続き、緊急性及び必要性を考慮しながら、土地改良区が主体の施設整備を支援する。
	農業の振興		27,454,465	1	農林水産部 農政課						
	土地改良施設整備事業		1,810,178	2	山田 正勝						
			31,830,267	3	高い						
			30,355,811	4	高い						
1,474,456	5	普通									

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)		事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名				
			R5年度決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費	4	有効性評価				
内 人件費	5	効率性評価							
8	30102090	土地改良施設の適正管理を行うとともに、小規模の災害等に適応するため、土地改良施設の維持管理を行う。	6,164,695	事務事業評価		土地改良施設の維持を目的とした施設の改修・修繕を迅速、かつ計画的に実施する必要がある。	土地改良施設の維持管理に必要な補修等を行い、施設の適切な管理を行った。	土地改良施設の機能が最大限発揮されるように施設の維持管理に努める。	
	農業の振興		2,972,200	1	農林水産部 農政課				
	土地改良施設維持事業		3,192,495	2	山田 正勝				
			8,957,017	3	普通				
			6,256,082	4	普通				
2,700,935	5	普通							
改善の効果		普通							
9	30102100	たん水被害を防止し、農業経営及び生活環境の安定を図るため、降雨時の排水機の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器のオーバーホール及び交換等を行う。	66,255,644	事務事業評価		排水機場の機能を適正に維持し、施設の長寿命化を図るため、計画的にオーバーホール等を実施する必要がある。	田原第一排水機場の蓄電池取替工事、田原第二排水機場のクラッチ整備工事等を県費補助事業で実施し、排水機の降雨時の運転に支障をきたさないよう早期に維持管理を行った。	愛知県土地改良事業団体連合会が行う土地改良施設維持管理適正化事業等により、排水機場の計画的な改修に努める。また突発的に発生する故障等の緊急的な修繕については、愛知県と調整しながら県費補助を活用し対応する。	
	農業の振興		57,305,541	1	農林水産部 農政課				
	排水機場等維持事業		8,950,103	2	山田 正勝				
			41,923,174	3	高い				
			34,996,412	4	高い				
6,926,762	5	普通							
改善の効果		高い							
10	30102120	農用地による流出量の増加により水路能力が不足し、農地のたん水被害を引き起こしているため、排水路を改修し、災害を未然に防止することにより地域産業の振興を図る。	18,786,432	事務事業評価		県営事業で整備する排水路の事業に対して、地元等と調整し、事業の推進を図る必要がある。	県営事業で整備する六号排水路の改修を行うにあたり、地元等と調整し、事業の円滑化を図った。	農作物の、たん水被害を未然に防ぐため、愛知県・地元等と調整し、排水路の改修を進める。排水路の改修時に近接する畑地所有者との調整を行い、事業の早期実施を図る。	
	農業の振興		17,140,816	1	農林水産部 農政課				
	緊急農地防災促進事業		1,645,616	2	山田 正勝				
			1,533,151	3	高い				
			460,819	4	高い				
1,072,332	5	普通							
改善の効果		高い							
11	30102140	土地改良施設(海岸樋門)の適正管理を図り、小規模災害等に対応可能とするため、施設の維持管理を行う。	2,993,729	事務事業評価		老朽化した施設の補修等を行い、災害に対応可能な施設を維持する必要がある。また、農政課と連携し、土地改良施設の適正な維持管理、樋門の操作確認を行い、管理委託する際に操作員に対しての十分な指導が必要である。	樋門の操作方法の確認、指導等を行ったことで警報発令等の緊急時に対応することができた。	緊急時において適切な対応が可能となるように、自治会等管理委託者に対し、施設の操作方法の指導を強化していく。また、施設の老朽化に伴い、改修等も随時検討する。	
	農業の振興		493,238	1	渥美支所 地域課				
	土地改良施設維持事業(渥美支所)		2,500,491	2	小久保 義則				
			2,309,503	3	高い				
			474,033	4	高い				
1,835,470	5	普通							
改善の効果		普通							
12	30102150	排水機の運転に支障を来さないように、定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設の修繕等を行い、施設の機能を維持し、たん水被害の防止、農業経営及び生活の安定を図る。	95,729,005	事務事業評価		施設の機能維持、延命のための定期的な保守点検及び機器等の修繕が必要である。また、塩害等による不具合箇所もみられるため、保守点検の強化を図り、大規模修繕とならないような対応が必要である。	定期的な保守点検及び老朽化や塩害等で不具合が生じたり、故障した機器等の取替及び修繕を実施し、施設の機能向上が図られ、農地等へのたん水被害の軽減に努めた。	定期的に保守点検や機器等の修繕を実施、機場の適正な機能維持、長寿命化を図る。また愛知県土地改良事業団体連合会が行う土地改良施設維持管理適正化事業等により、計画的な改修に努め、突発的に発生する故障等の緊急的な修繕については、愛知県と調整しながら県費補助を活用し対応する。	
	農業の振興		84,377,199	1	渥美支所 地域課				
	排水機場等維持事業(渥美支所)		11,351,806	2	小久保 義則				
			107,731,169	3	高い				
			98,309,613	4	高い				
9,421,556	5	普通							
改善の効果		普通							
13	30103010	たはら食育推進計画に基づき、市民、市や関係団体がそれぞれ主体となって様々な取組を行い、食育の普及・啓発を図る。	4,024,783	事務事業評価		市民一人ひとりの健全な食生活実践のため、「体」「心」「環境」の三つの視点に沿った食育を推進する必要がある。	「高校生朝ごはんプロジェクト」の一環として、昨年度考案したレシピを市内の臨海企業にて食堂のメニューとして提供、生徒が普及啓発を実施した。田原市の野菜を使用したレシピの開発及び保育園での食育講座に加え小学校でも開催するなど、市民へ食事の大切さを啓発した。	たはら食育推進計画に基づき、市民等が実施する食育活動を支援するとともに、食育に関する情報提供に取り組み、市民の食育への理解を促進する。	
	農業の振興		599,558	1	農林水産部 農政課				
	食育推進事業		3,425,225	2	山田 正勝				
			3,349,585	3	普通				
			557,272	4	普通				
2,792,313	5	普通							
改善の効果		高い							
14	30103020	農業公園として魅力ある施設を目指すとともに来園者の安全確保を図る。また、都市と農村の交流の場や地元農畜産物の振興の場としての活用を図る。	128,307,715	事務事業評価		施設の老朽化が進み、改修等が必要な場所が多くなっている。安全対策を行いながら公民連携による持続可能な運営を視野に入れ、魅力ある公園づくりを行う必要がある。	リニューアル事業への民間事業者の参画を想定したPFI導入可能性調査を実施。公民連携の事業成立可能性及び手法の優位性の確認を行い、PFI手法に決定した。	PFI事業アドバイザー業務を進め、令和7年度中のPFI事業契約を目指すと共にCo-IUサテライトキャンパス誘致の調整を行い、スケジュールを明確にして近年中のリニューアルオープンに取組む。	
	農業の振興		58,311,242	1	農林水産部 農業公園管理事務所				
	芦ヶ池農業公園運営事業		69,996,473	2	村上 知成				
			139,127,619	3	高い				
			56,326,396	4	高い				
82,801,223	5	普通							
改善の効果		高い							

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R5年度決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
15	30104010	農家の経営基盤の強化を図る各種補助事業を実施するとともに、国内外への販路拡大、産地競争力の強化、地域農産物の普及啓発、先進技術の導入などに関する事業を実施することで地域農業の発展に寄与する。	403,401,755	事務事業評価		農業用ハウスの強靱化と老朽化した栽培施設の再整備、新たな技術やスマート農業の導入促進により、農家の経営基盤の強化を図る必要がある。また、農産物の国内外における消費拡大を図る必要がある。	各種補助事業を活用し、自然災害時における被害防止対策を進めるとともに、地域におけるスマート農業機器の導入を支援し、地域農業の基盤強化を図った。また、国内外における販路拡大のため、農産物の消費拡大及び花きの活用拡大プロモーションを実施した。	国庫補助事業や県補助事業の活用による経営基盤の強化を支援するとともに、市単独の補助事業の効果的な活用を図る。国内外における農産物プロモーションに取り組み、需要喚起及び販路の拡大を目指す。
	農業の振興		360,262,032	1 農林水産部 農政課				
	農業経営活性化事業		43,139,723	2 山田 正勝				
			1,788,697,789	3 高い				
			1,737,573,204	4 高い				
		51,124,585	5 普通					
16	30104020	国の米政策に基づき、田原市地域農業再生協議会を通じて主食用米の生産数量目標の配分や情報提供等を行い、米の需給及び価格の安定と水田の有効利用を図る。	6,491,100	事務事業評価		主食用米の需給バランスを保つため、飼料用米等の転作の取組を支援するとともに、「水田収益力強化ビジョン」に基づく地域振興作物等の生産を支援することで魅力的な産地づくりに向けた取組を支援している。	国が進める水田活用施策(水田を活用して飼料用米、麦などの戦略作物への作付転換を図る)に基づき、田原市地域農業再生協議会が行う事業(希望者の取りまとめ、申請受付、現地確認など)を支援した。	田原市地域農業再生協議会が行う事業を継続して支援し、水田の有効活用として飼料用米、麦など戦略作物への作付転換を推進する。
	農業の振興		2,129,000	1 農林水産部 農政課				
	経営所得安定対策推進事業		4,362,100	2 山田 正勝				
			12,195,860	3 普通				
			1,967,000	4 普通				
		10,228,860	5 普通					
						改善の効果	高い	
17	30104030	畜産の伝染病は、発生農家はもとより産地として大きなダメージに繋がる。家畜の法定伝染病等の自衛防疫を促進するとともに、良質な畜産物を生産し、家畜飼養農家経営の安定と健全な発展を図る。	13,098,264	事務事業評価		伝染病は一度発生すると容易に他へ感染してしまうことから、市内畜産農家が同じ危機意識を持ち、地域一丸となって家畜防疫対策に取り組む必要がある。畜産農家によって意識や対応に差異があるため、より一層の防疫意識の高揚を図る必要がある。	家畜伝染病予防のため、ワクチンや防疫資材の購入の補助を実施し、田原市家畜防疫対策協議会の活動を支援することで、畜産農家に防疫の重要性の啓発を図った。	伝染病予防は畜産農家の自己防疫が要となるが、農家個々のレベルアップのため田原市家畜防疫対策協議会を支援し、農家の防疫意識の高揚を図る。豚熱をはじめ各種伝染病のリスクも高いことから、これまで以上に家畜伝染病が市内で発生しないよう対策、防疫強化、支援強化を図る。
	農業の振興		9,544,525	1 農林水産部 農政課				
	家畜伝染病予防支援事業		3,553,739	2 山田 正勝				
			12,941,651	3 高い				
			9,763,676	4 高い				
		3,177,975	5 普通					
						改善の効果	普通	
18	30104040	農業者の老後に必要な農業者年金の給付に必要な諸届受付を行い、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業の担い手を確保し、農業者の生涯所得の充実を図る。	2,810,131	事務事業評価		農業者の高齢のために、農業者年金の給付に関する諸届受付を行い、老後の生活の安定及び福祉の向上を図っている。農業者の生涯所得の充実に向け、より多くの加入者確保をめざし農業者年金制度の周知徹底を図る必要がある。	農業委員会だよりへのPR記事掲載、農業委員等を対象とした研修会・会議の参加者や認定農業者へチラシの配布等を行い、制度の周知を図った。加入は任意であるが、あらゆる機会において制度の周知を実施した。	広報紙への記事の掲載やチラシの配布等、制度の周知を図るためにJAと連携を図りながら継続的に実施していく。加入の推進役を担う農業委員等を対象とした研修会を実施し、旧制度との相違点や特徴、メリット等を説明できる人材を育成しながら、対象となる農業者に推進していく。
	農業の振興		207,677	1 農業委員会事務局				
	農業者年金推進事業		2,602,454	2 鈴木 敏恭				
			3,360,783	3 普通				
			206,366	4 普通				
		3,154,417	5 普通					
						改善の効果	普通	
19	30104050	畜産業の持続的な振興と畜産農家の経営安定を図ることを目的に、畜産業に関係する諸問題の解決に取組み、地域と共存する畜産経営環境を整備する。	373,102,465	事務事業評価		畜産業は、施設整備、機械導入、素畜導入費等が高額であり経営維持だけでも大変な状況である。さらに、近年飼料・牧草の高騰が著しく、畜産農家経営を圧迫している。そのため、本市の重要な産業である畜産業の経営安定を図る必要がある。	養豚施設の整備、後継牛の確保、死亡牛の処理、酪農ヘルパー利用組合に対する補助を通じて、畜産農家の経営安定化を図った。さらに、生乳の販売価格の低迷に対応するため、酪農家に対し緊急支援を実施した。	畜産農家の安定的な経営を支援するため、適時、適切な補助事業を実施するとともに、国庫補助事業等を活用した経営基盤強化の取組を支援する。
	農業の振興		367,555,925	1 農林水産部 農政課				
	畜産振興事業		5,546,540	2 山田 正勝				
			883,519,115	3 高い				
			879,189,420	4 高い				
		4,329,695	5 高い					
						改善の効果	高い	
20	30105010	田原農業改良普及課等と連携し、親元就農や新規参入をはじめ、企業退職者や半農半Xなど多様な担い手の参入も促す新規就農者の支援体制を構築する。	33,477,955	事務事業評価		田原農業改良普及課等と連携し、新規就農者への支援体制を設けているところであるが、希望する農地の取得や、農業技術を習得するための研修農家の確保などが難しいケースがある。また、市外からの移住者など地域の農家とつながりがない新規就農者に対する支援体制も必要となっている。	・新規就農者支援により、25名の者が新たに就農した。 ・先輩農業者が、課題を抱える新規就農者へ実践的なアドバイスを行う「農業メンター制度」を開始し、新規就農者への支援体制を強化した。	・新規就農者についての情報を集約し、相談や手続きをワンストップで行うことができる体制を構築する。 ・企業退職者や半農半Xなど多様な農業者の参入を促進するためのニーズ調査を行い、農業技術や農地確保等に対する支援策を検討する。 ・「農業メンター制度」の運用促進により、新規就農者への支援体制の充実を図る。
	農業の振興		16,074,133	1 農林水産部 営農支援課				
	担い手支援事業		17,403,822	2 永田 敬一				
			49,508,052	3 高い				
			32,317,161	4 普通				
		17,190,891	5 普通					
						改善の効果	高い	
21	30106020	農業生産における化学肥料、農業資材、農薬等の使用による環境への影響を軽減し、環境保全と生産性の維持・向上との調和が可能な環境保全型農業を農業者、農業団体及び市が一体となって推進する。	48,188,781	事務事業評価		安心安全な農産物の供給は、農産地の推進に欠かせないものであり、環境に配慮した生産者の取組を更に広げる必要がある。昨今では市内全域で有害鳥獣による農作物被害が拡大しており、対策の強化を図る必要がある。	脱炭素農業に繋がる施設改修等の取組に対し、補助金による支援を実施した。野生イノシシ捕獲用檻の追加購入や電気柵設置への補助金支援を実施し、農作物被害の軽減を図った。	化学肥料、農薬、燃油使用量等の低減を図り、持続可能な農業産地の形成を目指す。愛知県や広域狩猟連合田原支部と協力し、野生イノシシの捕獲圧を更に高めることで、渥美半島からの根絶を目指す。
	農業の振興		43,152,068	1 農林水産部 農政課				
	環境保全型農業支援事業		5,036,713	2 山田 正勝				
			60,367,803	3 高い				
			52,126,428	4 普通				
		8,241,375	5 普通					
						改善の効果	高い	

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)		事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名				
			R5年度決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費	4	有効性評価				
		内 人件費	5	効率性評価					
22	30106030	畜産経営において、負担が大きい糞尿処理に対し施設改修等の支援措置を講ずることで、糞尿処理の適正管理及び畜産農家の経営安定を促進し、畜産業の健全な振興を図る。	1,634,894		事務事業評価		畜産業に由来する環境問題に対応するため適切なふん尿処理等が必要であるが、畜産農家にとって設備投資は大きな負担となっている。	畜舎、堆肥舎等消臭対策について補助金による支援を行い、悪臭に伴う環境問題の改善がされるとともに、農家負担の軽減が図られた。	家畜ふん尿処理施設の改修等への支援を継続実施し、環境問題(野積み、排水対策、臭気問題等)を未然に防ぐ。
	農業の振興		46,000	1	農林水産部 農政課				
	家畜糞尿処理支援事業		1,588,894	2	山田 正勝				
			1,530,440		3	高い			
			93,000	4	普通				
		1,437,440	5	普通					
23	30201010	水産物の安定供給を目指し、「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換を図るため、漁業協同組合が実施する稚貝等放流事業を支援し、水産資源の増大を目指す。	2,264,216		事務事業評価		水産資源の定着は、潮流や海水温の変化などにより、大きく左右される一面があるが、資源の枯渇を防ぐため、「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換が必要である。特に、アサリについては、漁業協同組合と協力し、水揚げの増大に繋がる対策を行う必要がある。	水産資源の確保と定着を図るため、稚魚(メバル、カサゴ、ヒラメ)を購入し、漁場へ放流した。また、アサリ稚貝放流事業、アサリ稚貝採取事業を実施する予定であったが、稚貝供給元である豊川河口の稚貝が6月2日の大雨で死滅したため、大幅に規模を縮小することとなった。	「育てる漁業」を推進するため、魚類放流事業は引き続き実施する。アサリについては、漁業協同組合の判断を尊重し、必要な支援を行う。
	水産業の振興		367,000	1	農林水産部 農政課				
	栽培漁業振興支援事業		1,897,216	2	山田 正勝				
			2,156,615		3	高い			
			120,000	4	普通				
		2,036,615	5	普通					
24	30202010	漁業者・漁業関係団体が漁業経営の活性化、漁場環境の改善を図るために行う「水産多面的機能発揮対策事業」に対し、国、県とともに支援し、漁場環境の改善を図り、漁業者の経営安定を目指す。	8,339,617		事務事業評価		漁業協同組合が所有する財産の多くは、老朽化等で更新の時期を迎えており、漁業生産力を維持・向上させるためには、継続的な支援が必要である。また、漁場環境を適切に保ち、維持し続けるためには、漁業者や漁業関係団体と連携した支援が必要である。	漁業協同組合が、漁業生産力を強化するため行う就労環境改善などの取組に対して支援を行った。漁業者や漁業関係団体が漁場環境の改善を図るために行う取組(耕うん、清掃活動等)に対して支援を行った。	引き続き漁業協同組合が漁業生産力の維持・向上のため行う取組を継続的に支援する。漁業者や漁業関係団体が漁場環境の改善を図るために行う取組(耕うん、清掃活動等)を継続して支援する。
	水産業の振興		1,933,909	1	農林水産部 農政課				
	漁業者・団体支援事業		6,405,708	2	山田 正勝				
			7,253,945		3	高い			
			5,031,731	4	普通				
		2,222,214	5	普通					
25	30203040	市が管理する姫島、宇津江、伊川津漁港施設の維持管理を適正に行う。	21,692,606		事務事業評価		利用者が安心・安全に使用できる漁港を目指し、適正な維持管理を継続していく必要がある。	指定管理による漁港施設の円滑な維持管理を行うとともに、姫島漁港の防波堤補修工事を行った。	利用者が安心・安全に使用できる漁港を目指し、指定管理者制度を活用した維持管理を継続する。また老朽化の進む漁港施設については、漁港機能保全計画に基づく計画的な修繕を行うことで、安全の確保を図る。
	水産業の振興		18,358,496	1	都市建設部 維持管理課				
	漁港管理事業		3,334,110	2	渡會 英樹				
			50,644,563		3	高い			
			46,542,662	4	高い				
		4,101,901	5	普通					
26	30301020	本市の産業振興と地域活力を増進するため、臨海部に企業の誘致を図るとともに、東三河5市が連携した企業誘致の活動を行う。	15,434,229		事務事業評価		・本市臨海部の企業用地について、複数企業が立地に向けた検討を進めるほか、市内企業が事業拡大のために用地を購入するなど、企業の活発な動き継続している。検討を進める企業が事業化決定するまで、引き続き地域や行政窓口との橋渡し役として伴走する必要がある。	・企業との面談の機会を多く設け、産業動向の把握や用地情報の発信に努めた。 ・立地検討企業に対し、対地域、行政など関係団体等との調整役を担い、安心して立地いただくサポート業務に努めた。	・本市臨海部は再生可能エネルギー発電施設が集積する地区となっており、今後、キュラーエコノミー団地の形成を目指すものの、新たな業態については、地域の理解が得られるよう丁寧な説明を行いながら誘致を進める。
	工業の振興		2,742,300	1	商工観光部 企業立地課				
	誘致活動事業		12,691,929	2	小谷 生典				
			18,004,613		3	高い			
			2,761,297	4	普通				
		15,243,316	5	普通					
27	30301030	田原市企業立地奨励金交付要綱等に基づき、進出企業の初期及び拡張投資の支援を図り、本市への企業立地を促進する。また、臨海部に立地した企業で構成する田原臨海企業懇話会の活動支援を行う。	24,698,859		事務事業評価		・企業立地奨励金により、進出企業の初期投資、拡張投資を支援している。 ・コロナ禍で休止していた田原臨海企業懇話会の活動を再開。幹線道路改善活動、企業防災力の強化に取り組む諸活動を継続するが、真に企業が必要とする活動となるよう、企業の意向を踏まえた事業実施に努める必要がある。	・懇話会の活動は、コロナ禍を経て新たな形での活動を行うほか、4年ぶりに総会を開催するなど企業間における意見交換の場を提供した。 ・本市臨海部に立地する企業を対象に物流の2024年問題に対応するため、中部運輸局を講師に迎え講演会を開催した。	・企業立地奨励金など、近隣市町と比較しても脆弱であり、新たなインセンティブの検討を行う。 ・新規立地企業、既存企業においても従業員の確保が課題といった声があることから、新たな奨励金制度の検討、関係機関と連携した雇用の確保を図る。
	工業の振興		18,164,890	1	商工観光部 企業立地課				
	立地誘導・活動支援事業		6,533,969	2	小谷 生典				
			31,574,492		3	高い			
			24,543,630	4	普通				
		7,030,862	5	普通					
28	30302010	重要港湾三河港の整備・振興を図るため、国・県・関係団体への要望活動、振興PR事業の実施や自動車港湾としての特性を高める諸活動を行う。	11,770,443		事務事業評価		・行政、商工、海運事業者等で構成する三河港振興会を中心に三河港の整備・利用促進を図るため、各種要望、ポートセールス等を行っている。 ・田原公共ふ頭-10m整備の早期整備を目指し、引き続き港を活用する企業の誘致が必要である。	・国の補助事業として新規採択された、田原公共ふ頭-10m 耐震強化岸壁の整備の早期整備を実現するため、継続的に国・県に対する要望活動を行った。 ・三河港の活用を促進するため、三河港振興会主催により三河港ポートセミナーを開催した。	・田原公共ふ頭の-10m整備が計画(R5d~R7d)どおり進捗するよう、継続的な予算確保を要望する。 ・公共ふ頭の整備により大型船の着岸が可能となることで、田原の企業用地の価値が高まることから、引き続き企業誘致に努める。
	工業の振興		2,200,460	1	商工観光部 企業立地課				
	三河港振興事業		9,569,983	2	小谷 生典				
			11,198,987		3	高い			
			2,134,690	4	普通				
		9,064,297	5	普通					

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)		事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名				
			R5年度決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費	4	有効性評価				
		内 人件費	5	効率性評価					
29	30401010	商業の振興 中小企業活性化支援事業	97,323,910		事務事業評価		・中小企業の経営者の高齢化や後継者不在による廃業を防止すること及び創業者を増やすための取組が求められている。 ・地域経済の発展のため、6次産業化の推進、地域産品のブランド化を図る必要がある。	・専門家による事業承継個別相談窓口を開設し、経営者・後継者の事業承継に関する中小企業者の相談に応じた。 ・渥美半島たはらブランド商品4件を新たに認定し、販路拡大などの支援をした。	・中小企業・小規模企業振興を図るため、条例制定や(仮称)産業会館整備を行うことで、地域経済の持続的な成長につなげる。 ・創業支援ネットワークの構成員と連携し、相談体制を強化するなど、創業者に対する支援の充実を図る。 ・地域の農水畜産物を活用した商品の開発、販路拡大などを支援し、地域産業の活性化を図る。
	88,132,974		1	商工観光部 商工課					
	9,190,936		2	花井 康臣					
	105,904,776		3	高い					
	88,787,989		4	高い					
		5	普通						
改善の効果		高い							
30	30402020	商業の振興 セントファール管理運営事業	39,571,345		事務事業評価		・オープンから19年が経過したことで、経年劣化や故障により交換が必要な設備が見られるため、対応が必要である。	・防災設備(自動火災報知設備受信機本体・中継器)等を更新したことで、利用者の安全性と信頼性の維持を図った。	・長期的な修繕計画を作成し、施設の長寿命化、修繕費等の平準化を図る。 ・施設運営している(株)あつまるタウン田原と連携し、利用者の利便性や安全性の維持を図る。
	33,842,540		1	商工観光部 商工課					
	5,728,805		2	花井 康臣					
	45,703,629		3	普通					
	38,968,073		4	普通					
		5	普通						
改善の効果		普通							
31	30403010	商業の振興 商業団体支援事業	112,589,752		事務事業評価		・中小企業者の経営改善を図るため、支援機関である両商工会の担うべき役割は、大きくなっている。 ・両商工会の会員数、田原・渥美カード事業協同組合の組合員数は、減少傾向にあり、会員、組合員の確保が課題となっている。	・市内中小企業者の経営の改善を図るため支援機関である両商工会に補助を行った。 ・プレミアム付商品券を発行することで、市内での消費喚起を図り、事業者を支援した。 ・たまぼカードに対し行政ポイントを発行することで、市内での購買行動を促した。	・より効果的な中小企業者の経営改善支援ができるように、商工会補助については、必要に応じ補助対象事業などの見直しを行う。 ・行政ポイントの発行など、カード事業協同組合への支援を継続することで、たまぼカードの利用促進を図る。
	107,428,180		1	商工観光部 商工課					
	5,161,572		2	花井 康臣					
	136,118,902		3	高い					
	126,923,884		4	普通					
		5	普通						
改善の効果		普通							
32	30501010	観光の振興 観光推進事業	64,523,392		事務事業評価		・急速に回復しているインバウンド観光客を呼び込むため、広域で連携して観光を推進し、国外からの誘客施策を実施する必要がある。 ・高付加価値化を図るため、観光事業に携わる人材の育成を図る必要がある。	・10ヶ国語に対応した田原市観光デジタルマップを作成し、外国人観光客の誘客と利便性の向上を図った。 ・観光事業者等を対象に観光まちづくり実践塾を開催し、事業者間の連携強化を図った。	・伊良湖温泉部会や専門機関との連携により、温泉を核とした田原市の新たな観光モデル「ウェルネスツーリズム」の推進を図る。 ・観光事業者の人材育成や連携強化等を目的とした連絡会議やワーキングを継続開催する。
	42,140,964		1	商工観光部 観光課					
	22,382,428		2	杉浦 清明					
	84,683,170		3	普通					
	60,382,352		4	高い					
		5	普通						
改善の効果		高い							
33	30502010	観光の振興 観光情報サービスセンター運営事業	57,738,083		事務事業評価		・田原めつくんはうすは、保守点検では正項目になった高圧受変電設備改修工事を行い、あかばねロコステーションは、空調の老朽化の改善のため、空調改修工事の発注を行った。 ・あかばねロコステーション外装改修工事、太陽光パネル設置工事を行った。	・田原めつくんはうすは、保守点検では正項目になった高圧受変電設備改修工事を行い、あかばねロコステーションは、空調の老朽化の改善のため、空調改修工事の発注を行った。 ・あかばねロコステーション外装改修工事、太陽光パネル設置工事を行った。	・計画的かつ効率的な施設の改修と機械類の修繕、部品交換等を実施する。 ・田原めつくんはうすの老朽化した外装や屋根の改修工事を行う。
	46,652,853		1	商工観光部 観光課					
	11,085,230		2	杉浦 清明					
	119,037,828		3	普通					
	113,416,849		4	普通					
		5	普通						
改善の効果		普通							
34	30502020	観光の振興 蔵王山展望台運営事業	25,702,773		事務事業評価		・太平洋、三河湾が一望できる蔵王山展望台利用者の利便の向上を図るため、老朽化が進んだ施設と機械類の計画的な改修が必要となっている。	・分電盤取替工事、デッキ修繕等を行い、施設機能の長寿命化を図った。 ・映像機器等の保守点検等により適正な管理運営を実施した。	・展望台の大規模修繕や建て替えなどの方向性の検討を行うとともに、修繕や更新については不具合か所の優先順位を決めて計画的に進めていく。
	23,205,564		1	商工観光部 観光課					
	2,497,209		2	杉浦 清明					
	31,288,938		3	普通					
	27,431,608		4	普通					
		5	普通						
改善の効果		普通							
35	30502040	観光の振興 田原まつり会館運営事業	6,910,984		事務事業評価		・山車収蔵庫の大扉の建てつけの悪化や空調機器の老朽化など、施設の経年劣化に伴う計画的な改修が必要となっている。 ・施設の効果的なPRを実施し、利用客の増加を図る必要がある。	・雨漏りの修繕を行い、施設環境の向上を図った。 ・老朽化した外壁等の改修工事のため実施設計を行った。	・山車収蔵庫の大扉や空調機器等について計画的な改修を引き続き行う。 ・外国人旅行者に対する館内表示や動画資料等の多言語化を検討する。
	3,655,914		1	商工観光部 観光課					
	3,255,070		2	杉浦 清明					
	10,034,350		3	普通					
	5,369,029		4	普通					
		5	普通						
改善の効果		普通							

No	事務事業コード		事務事業の目的	R4年度決算額(円)		事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	施策名			内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名			内 人件費		2	評価責任者氏名			
				R5年度決算額(円)		3	妥当性評価			
				内 直接事業費		4	有効性評価			
		内 人件費		5	効率性評価					
36	30502050		サーファー、観光客等、太平洋ロングビーチ観光便益施設(管理棟、多目的トイレ1基、男子更衣室:トイレ5基(小3基・大2基)、温水シャワー3基、女子更衣室:トイレ4基、温水シャワー3基)利用者の利便を図るために適正な維持管理を実施する。	5,923,495		事務事業評価		・オープンから13年が経過し、海岸そばの立地条件により、施設と機械類の老朽化が進み、改修等に要する費用が増加傾向にある。 ・日本有数のサーフスポットとして、より魅力のある施設にするための検討を行う必要がある。	・コインシャワーの更新工事を行い、施設利用者の快適性を向上させた。	・計画的かつ効率的な施設の改修と機械類の修繕、部品交換等を実施する。 ・2026年のサーフィンアジア大会に向けて施設改修を行い、魅力を向上させる。
	観光の振興			4,729,681		1	商工観光部 観光課			
	ロングビーチ管理棟管理事業			1,193,814		2	杉浦 清明			
				11,438,659		3	普通			
				9,669,424		4	普通			
		1,769,235		5	普通					
37	30502060		観光地の公衆便所、駐車場、園地等を適正に維持管理することで、観光客等の利便を図る。	50,474,490		事務事業評価		・観光トイレなどの施設は、海岸そばに立地しているため、施設の老朽化が進み、改修等に要する費用が増加傾向にある。 ・施設の改修に向けて必要性の有無や施設規模の検討を行う必要がある。	・現状の施設を確認し、優先度の高い項目から修繕を行った。 ・海岸公衆便所外装改修工事 ・海岸公衆便所LED化工事等	・計画的かつ効率的な施設の改修と機械類の修繕、部品交換等を実施する。 ・施設の改修に向けて必要性の有無や施設規模の検討を行う。
	観光の振興			48,772,860		1	商工観光部 観光課			
	観光地維持管理事業			1,701,630		2	杉浦 清明			
				79,971,098		3	普通			
				77,138,668		4	普通			
		2,832,430		5	普通					
38	30502070		田原市の観光魅力度の向上を図るため観光施設の整備拡充、修繕等を実施することにより、観光誘客及び観光客の利便を図る。	292,179,650		事務事業評価		・本市を訪れた観光客の立ち寄り場所の拡大や滞留時間の延伸を図るため、観光施設の計画的な改修や整備を行い、本市観光の魅力を高める必要がある。 ・伊良湖クリスタルポルトの取得に伴い、魅力ある道の駅として再開させるための改修を行う必要がある。	・令和4年度から令和5年度にかけ伊良湖クリスタルポルトの改修工事を行った。 ・田原市伊良湖地域基本構想策定業務を行い、伊良湖地域の課題の抽出等を行った。	・田原まつり会館等の観光施設の適切な維持管理を行うとともに、修繕や更新を計画的に行う。
	観光の振興			286,517,052		1	商工観光部 観光課			
	観光施設整備事業			5,662,598		2	杉浦 清明			
				84,850,341		3	普通			
				77,473,920		4	普通			
		7,376,421		5	普通					
39	30502080		伊良湖温泉給湯施設の適正な管理運営を実施することで、利用者の利便を図る。	9,498,391		事務事業評価		・オープンから2年目であるため、施設の運営方法の最適化や維持管理費の削減方法について検討していく必要がある。	・温泉看板の修繕を行い、利用者に必要な情報を記載した。	・施設の運営が円滑にできるよう、運営方法の検討を行う。 ・計画的な機器更新計画を立案するために、源泉ポンプ劣化度調査を行い、ポンプの交換時期を検討する。
	観光の振興			7,796,761		1	商工観光部 観光課			
	伊良湖温泉給湯施設運営事業			1,701,630		2	杉浦 清明			
				8,947,232		3	普通			
				6,776,838		4	普通			
		2,170,394		5	普通					
40	30503010		魅力ある観光まちづくりを推進するために渥美半島観光ビューローの支援を行い、官民協働による観光及びレクリエーションの活動の振興を図る。	51,369,718		事務事業評価		・本市の観光振興の中核を担う組織として、関係団体をとりまとめ、事業展開を進める必要がある。 ・自立化のための安定的な財源確保を支援し、収入に占める補助金の割合を下げしていく必要がある。	・(R2)64,800千円、(R3)50,000千円、(R4)47,000千円へと減額を図り、R5年度には50,000千円と増額したが、菜の花まつり等の収益により事業運営を行うことで最小限の補助金増加とした。	より安定した財源確保を図るため、自立化のための収益事業の強化や、自主財源の確保による経営基盤の強化を支援する。
	観光の振興			47,000,000		1	商工観光部 観光課			
	観光団体活動支援事業			4,369,718		2	杉浦 清明			
				53,951,664		3	高い			
				50,000,000		4	普通			
		3,951,664		5	普通					
41	30503020		市民まつりを開催する田原市民まつり推進協議会の活動を支援することで、市民相互の融和と市民意識の高揚を図る。	10,838,104		事務事業評価		・田原市民まつりを継続してきた中で、その変遷とともに開催内容も大きく変化している。 ・開始から20年が経過したこともあり、田原市民まつりの目的である「合併後の融和」は着実に達成されている。	・田原市民まつりの現状に合った目的設定、目的達成にふさわしい会員とするべく協議会体制の見直しを行った。 ・令和5年度は、市制施行20周年を記念して2日間にわたり開催し、多数の来場者があった。	・推進協議会会員及び実行委員等の意見を参考にしながら、今後の開催方法や内容について検討し、見直しを進める。
	観光の振興			7,000,000		1	商工観光部 商工課			
	市民まつり支援事業			3,838,104		2	花井 康臣			
				16,494,411		3	普通			
				9,300,000		4	普通			
		7,194,411		5	普通					
42	30604010		市内に在住する勤労者への資金の融資を円滑にし、生活及び福祉の向上を図るため、東海労働金庫豊橋支店に資金を預託するほか、勤労者の団体が実施する福祉事業への助成を行い、勤労者の健康の増進と福祉の向上を図る。	19,670,731		事務事業評価		・資金預託することで東海労働金庫が勤労者に資金融資をすることが円滑になる。 ・預託金、補助制度は、他市との均衡を図りながら実施している。	・支援制度等の適正な運用に努めた。	・預託金、補助制度については、他市の動向を注視し、必要に応じ見直しを行う。
	労働環境・消費生活の充実			18,635,000		1	商工観光部 商工課			
	勤労者支援推進事業			1,035,731		2	花井 康臣			
				19,740,461		3	普通			
				18,606,000		4	普通			
		1,134,461		5	普通					

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	2 評価責任者氏名				
			R5年度決算額(円)	3 妥当性評価				
			内 直接事業費	4 有効性評価				
内 人件費	5 効率性評価							
43	30605010	田原市地域職業相談室において、求職者への求人情報の提供を行い、市民に安定した雇用機会を確保する。	6,846,339	事務事業評価		<p>・田原市からハローワーク豊橋まで距離があるため、求職者の利便性向上を図る必要がある。</p> <p>・少子化の影響などにより、市内の事業者の若手人材の獲得が困難な状況になっている。人材・担い手の確保や、人口流出防止を図る必要がある。</p>	<p>・田原市地域職業相談室を国と共同で運営し、職業相談などを行い、市民の安定した雇用機会の確保に努めた。</p> <p>・将来的に田原市への就職、定住、Uターン就職等につなげるため、市内高校生などを対象とした企業フェアを開催した。</p>	<p>・ハローワーク豊橋と連携し、求職者のための地域企業説明会を共催し、市内での就職を促進する。</p> <p>・企業フェアの開催など、地域の企業の魅力を伝える機会を設け、若手人材の確保に努める。</p>
	労働環境・消費生活の充実		1,405,147	1 商工観光部 商工課				
	雇用推進事業		5,441,192	2 花井 康臣				
			5,199,615	3 高い				
			1,088,824	4 普通				
4,110,791	5 普通							
		改善の効果		普通				
44	30606010	地域住民の健全な暮らしや生活の向上、消費者問題意識を高め、消費者トラブルの防止を図る。また、金融広報活動及び消費者教育活動の促進を図る。	5,547,361	事務事業評価		<p>・消費者トラブルは、インターネットの普及・発達などにより高度かつ複雑化しているため、問題を解決するために、専門家に相談できる場所が必要である。</p>	<p>・東三河広域連合消費生活田原センターを運営し、市民からの消費者トラブルの相談を受け、解決に努めた。</p>	<p>・オンラインシステム等を活用することで東三河広域連合の消費生活相談業務は、センターの集約化が図られる予定である。</p> <p>・令和7年度に新たな体制になることから、総合センター(豊橋)と連携を図り、消費生活相談に対応していく。</p>
	労働環境・消費生活の充実		2,028,411	1 商工観光部 商工課				
	消費者支援推進事業		3,518,950	2 花井 康臣				
			5,522,058	3 高い				
			2,458,151	4 普通				
3,063,907	5 普通							
		改善の効果		普通				